

各位

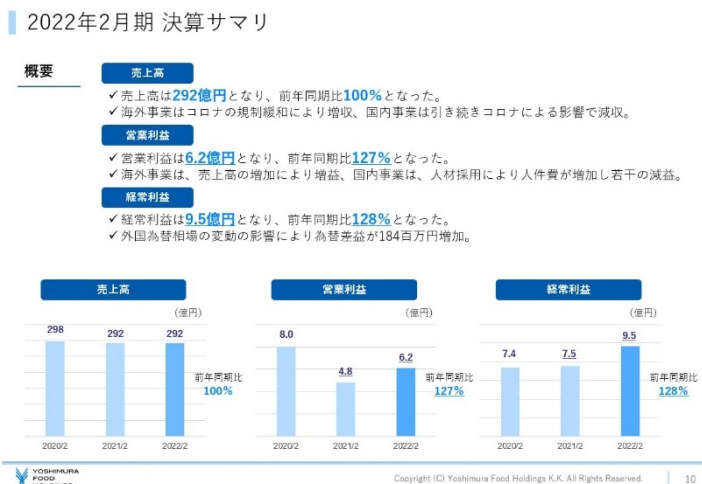
会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス  
 代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久  
 (コード: 2884、東証プライム)  
 問合せ先 取締役CFO 安東 俊  
 (TEL. 03-6206-1271)

## (訂正)「2022年2月期 決算説明資料」の一部訂正について

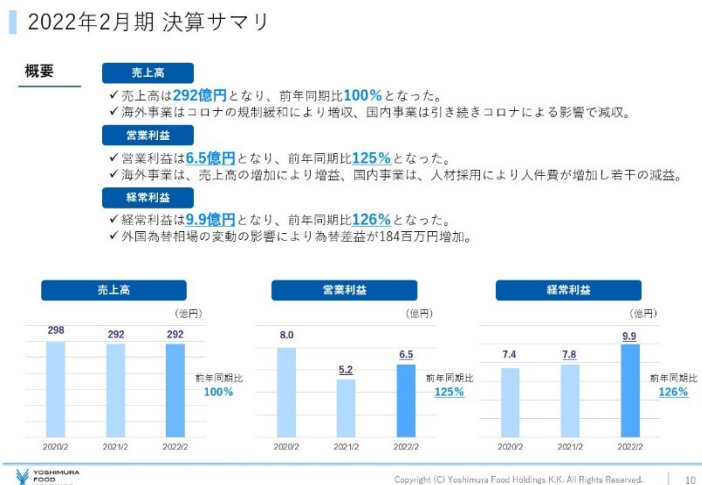
2022年4月14日に発表いたしました適時開示資料「2022年2月期 決算説明資料」につきまして、別途、本日(2022年5月11日)開示した「過年度の決算短信等及び有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」の内容に基づき下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

### 記

(訂正前)



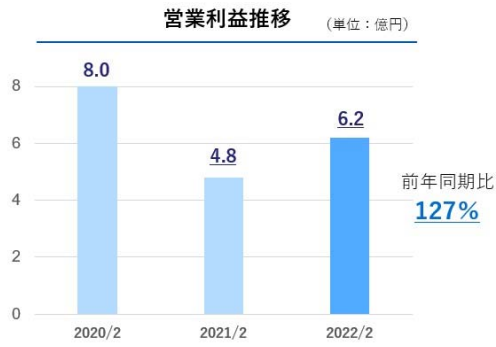
(訂正後)



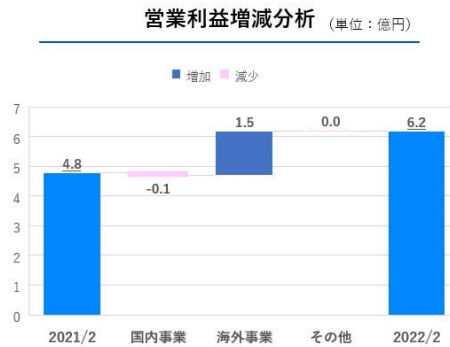
(訂正前)

## 営業利益の推移

営業利益は**6.2億円**となり、前年同期比**127%**となった。



- 国内事業は、HDでの人材の積極採用による人件費増加の一方で、製造事業が増益。
- 海外事業は、コロナからの回復により、製造事業が増益。

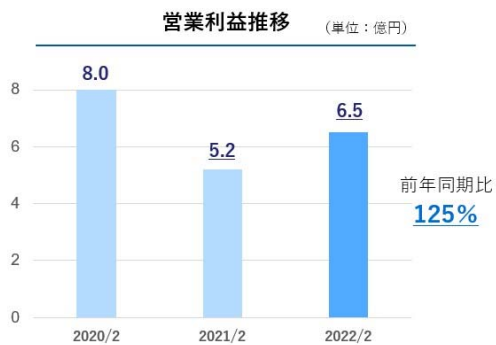


- 海外事業が大幅に増益となる

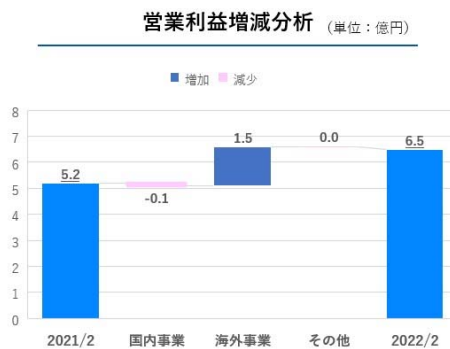
(訂正後)

## 営業利益の推移

営業利益は**6.5億円**となり、前年同期比**125%**となった。



- 国内事業は、HDでの人材の積極採用による人件費増加の一方で、製造事業が増益。
- 海外事業は、コロナからの回復により、製造事業が増益。

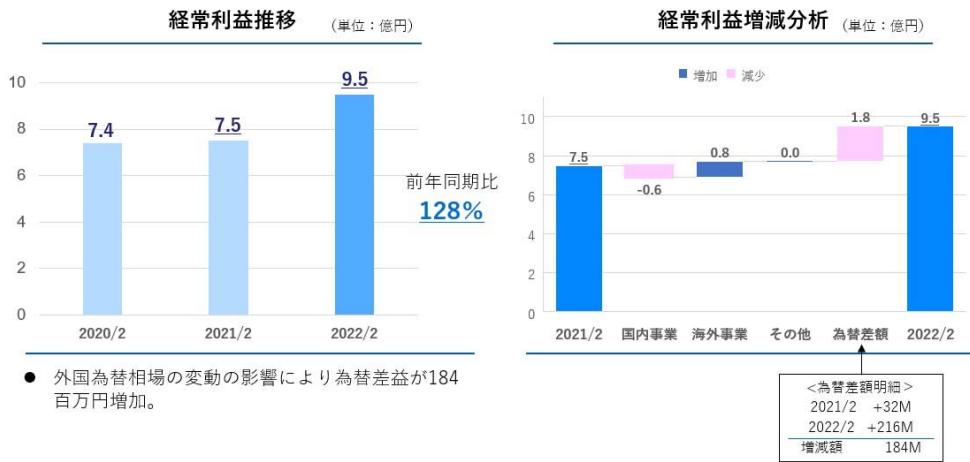


- 海外事業が大幅に増益となる

(訂正前)

## 経常利益の推移

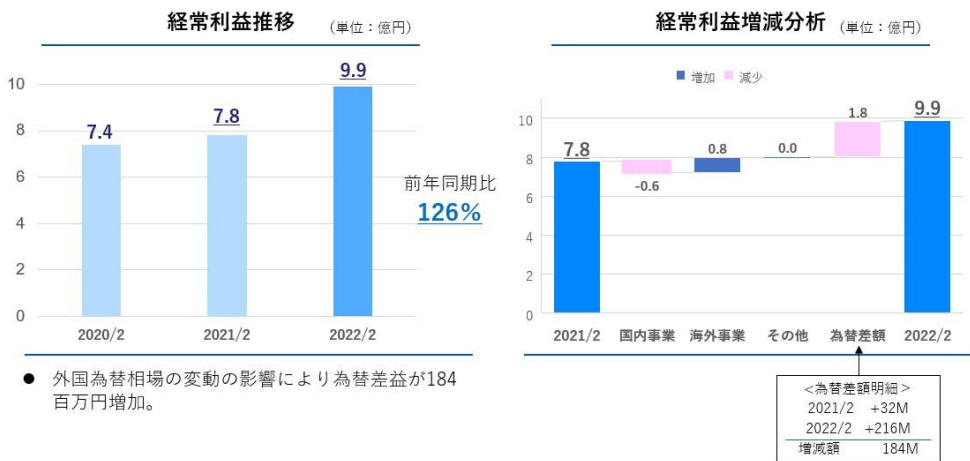
経常利益は**9.5億円**となり、前年同期比**128%**となった。



(訂正後)

## 経常利益の推移

経常利益は**9.9億円**となり、前年同期比**126%**となった。



(訂正前)

## 2022年2月期の業績予想と実績比較

達成率は、**売上高95.7%、営業利益77.0%、経常利益118.1%、親会社株主に帰属する当期純利益117.1%**となる。

	2022年2月期 実績	2022年2月期 業績予想	差異	達成率	(単位：百万円)
売上高	29,283	30,607	▲1,324	95.7%	● 売上高 ✓ 栄川酒造が連結から外れたことによる減少 ✓ 国内外ともに、想定以上にコロナの影響が長期化したことで未達
営業利益	620	805	▲185	77.0%	● 営業利益 ✓ 上記、売上減少に伴う未達
経常利益	958	811	147	118.1%	● 経常利益及び当期純利益 ✓ 為替差益およびコロナ関連補助金収入等により達成
親会社株主に帰属する当期純利益	405	346	58	117.1%	

(訂正後)

## 2022年2月期の業績予想と実績比較

達成率は、**売上高95.7%、営業利益81.4%、経常利益122.6%、親会社株主に帰属する当期純利益144.5%**となる。

	2022年2月期 実績	2022年2月期 業績予想	差異	達成率	(単位：百万円)
売上高	29,283	30,607	▲1,324	95.7%	● 売上高 ✓ 栄川酒造が連結から外れたことによる減少 ✓ 国内外ともに、想定以上にコロナの影響が長期化したことで未達
営業利益	655	805	▲150	81.4%	● 営業利益 ✓ 上記、売上減少に伴う未達
経常利益	993	811	182	122.6%	● 経常利益及び当期純利益 ✓ 為替差益およびコロナ関連補助金収入等により達成
親会社株主に帰属する当期純利益	500	346	154	144.5%	

(訂正前)

## 損益計算書

前年同期比は、**売上高100.0%**、**営業利益127.0%**、**経常利益127.5%**、**当期純利益125.4%**、**EBITDA98.1%**となる。

	2021年2月期		2022年2月期		前年 同期比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,289	100.0%	29,283	100.0%	100.0%	【売上高】 ✓ 国内事業は減収となるも海外事業はコロナからの回復により増収となる
売上総利益	6,209	21.2%	6,343	21.7%	102.2%	
販管費	5,721	19.5%	5,722	19.5%	100.0%	【営業利益】 ✓ 国内事業は前年同期並みとなり、海外事業は売上の回復により増益となる
営業利益	488	1.7%	620	2.1%	127.0%	【経常利益】 ✓ 営業利益の増益分に加え、外国為替相場の変動の影響により為替差益が184百万円増加
経常利益	752	2.6%	958	3.3%	127.5%	
親会社株主に 帰属する当期 純利益	323	1.1%	405	1.4%	125.4%	【当期純利益】 ✓ 為替差損益は同上 ✓ NKRマレーシアは洪水被害により特別損失に災害損失84百万円を計上（当期純利益への影響は持分比率等に基づき32百万円）
EBITDA	1,607	5.5%	1,577	5.4%	98.1%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

(訂正後)

## 損益計算書

前年同期比は、**売上高100.0%**、**営業利益125.1%**、**経常利益126.2%**、**当期純利益119.7%**、**EBITDA98.1%**となる。

	2021年2月期		2022年2月期		前年 同期比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,289	100.0%	29,283	100.0%	100.0%	【売上高】 ✓ 国内事業は減収となるも海外事業はコロナからの回復により増収となる
売上総利益	6,209	21.2%	6,343	21.7%	102.2%	
販管費	5,685	19.4%	5,687	19.4%	100.0%	【営業利益】 ✓ 国内事業は前年同期並みとなり、海外事業は売上の回復により増益となる
営業利益	523	1.8%	655	2.2%	125.1%	【経常利益】 ✓ 営業利益の増益分に加え、外国為替相場の変動の影響により為替差益が184百万円増加
経常利益	787	2.7%	993	3.4%	126.2%	
親会社株主に 帰属する当期 純利益	417	1.4%	500	1.7%	119.7%	【当期純利益】 ✓ 為替差損益は同上 ✓ NKRマレーシアは洪水被害により特別損失に災害損失84百万円を計上（当期純利益への影響は持分比率等に基づき32百万円）
EBITDA	1,607	5.5%	1,577	5.4%	98.1%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

(訂正前)

## 貸借対照表

利益剰余金の増加により、自己資本比率は22.2%（前年同期比+2.8%）へ改善。

	2021年2月期	2022年2月期	前期末増減額	(単位:百万円)
<b>流動資産</b>	<b>14,828</b>	<b>12,545</b>	<b>△2,283</b>	
現金及び預金	4,942	3,293	△1,649	【流動資産】
売掛金	4,973	4,347	△626	✓ 借入金の返済及び新規M&Aにより現預金が減少
たな卸資産	4,681	4,503	△177	
その他流動資産	231	401	+169	
<b>固定資産</b>	<b>8,806</b>	<b>11,723</b>	<b>+2,917</b>	【固定資産】
有形固定資産	3,843	5,672	+1,828	✓ シンガポールにおいて不動産所有企業であるSharikatの株式を譲り受けたことで有形固定資産が増加
無形固定資産	4,264	4,686	+422	
投資その他の資産	698	1,365	+666	✓ 十二堂及びSharikatを取得したこと等によりれんがが増加
<b>資産合計</b>	<b>23,635</b>	<b>24,269</b>	<b>+633</b>	
<b>流動負債</b>	<b>7,009</b>	<b>6,367</b>	<b>△641</b>	【流動負債】
買掛金	2,465	2,338	△126	✓ 返済が進んだことで1年以内返済予定長期借入金が減少
短期借入金	718	738	+19	
1年以内返済予定長借	1,739	1,469	△269	
その他流動負債	2,085	1,821	△264	
<b>固定負債</b>	<b>8,821</b>	<b>9,060</b>	<b>+239</b>	【固定負債】
長期借入金	8,621	8,354	△266	✓ 返済が進んだことで長期借入金が減少
その他固定負債	200	706	+505	✓ Sharikatの取得によりリース債務等が増加
<b>負債合計</b>	<b>15,831</b>	<b>15,428</b>	<b>△402</b>	【純資産】
純資産	7,804	8,840	+1,036	✓ 利益剰余金の増加、為替相場の変動により為替換算調整勘定が増加
<b>負債・純資産合計</b>	<b>23,635</b>	<b>24,269</b>	<b>+633</b>	

(訂正後)

## 貸借対照表

利益剰余金の増加により、自己資本比率は26.6%（前年同期比+3.0%）へ改善。

	2021年2月期	2022年2月期	前期末増減額	(単位:百万円)
<b>流動資産</b>	<b>14,828</b>	<b>12,545</b>	<b>△2,283</b>	
現金及び預金	4,942	3,293	△1,649	【流動資産】
売掛金	4,973	4,347	△626	✓ 借入金の返済及び新規M&Aにより現預金が減少
たな卸資産	4,681	4,503	△177	
その他流動資産	231	401	+169	
<b>固定資産</b>	<b>8,321</b>	<b>11,197</b>	<b>+2,876</b>	【固定資産】
有形固定資産	3,843	5,672	+1,828	✓ シンガポールにおいて不動産所有企業であるSharikatの株式を譲り受けたことで有形固定資産が増加
無形固定資産	3,762	4,160	+398	
投資その他の資産	715	1,365	+649	✓ 十二堂及びSharikatを取得したこと等によりれんがが増加
<b>資産合計</b>	<b>23,150</b>	<b>23,743</b>	<b>+593</b>	
<b>流動負債</b>	<b>7,009</b>	<b>6,367</b>	<b>△641</b>	【流動負債】
買掛金	2,465	2,338	△126	✓ 返済が進んだことで1年以内返済予定長期借入金が減少
短期借入金	718	738	+19	
1年以内返済予定長借	1,739	1,469	△269	
その他流動負債	2,085	1,821	△264	
<b>固定負債</b>	<b>8,821</b>	<b>9,060</b>	<b>+239</b>	【固定負債】
長期借入金	8,621	8,354	△266	✓ 返済が進んだことで長期借入金が減少
その他固定負債	200	706	+505	✓ Sharikatの取得によりリース債務等が増加
<b>負債合計</b>	<b>15,831</b>	<b>15,428</b>	<b>△402</b>	【純資産】
純資産	7,319	8,314	+995	✓ 利益剰余金の増加、為替相場の変動により為替換算調整勘定が増加
<b>負債・純資産合計</b>	<b>23,150</b>	<b>23,743</b>	<b>+593</b>	



(訂正前)

## 業績推移及び今後の見通し

M&A実行件数は、新型コロナウイルスの影響により一時的に減少したものの、2022年2月期からは増加傾向にあり、2023年2月期以降、更なる加速化により業績拡大を図る。



(訂正後)

## 業績推移及び今後の見通し

M&A実行件数は、新型コロナウイルスの影響により一時的に減少したものの、2022年2月期からは増加傾向にあり、2023年2月期以降、更なる加速化により業績拡大を図る。



(訂正前)

## 2023年2月期 業績計画

国内事業、海外事業共に増収増益を見込む。国内事業、海外事業共に新型コロナウイルスの影響が継続することを前提とし、緩やかな回復を見込んでいる。なお、**新たなM&Aによる成長は含めていない**。

	2022年2月期		2023年2月期 (業績予想)		前年比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,283	100.0%	30,526	100.0%	104.2%	【売上高】 ✓ 国内事業は、現状維持を前提とし、十二堂が新たに加わることで増収 ✓ 海外事業は、緩やかな回復を見込む
営業利益	620	2.1%	800	2.6%	129.1%	【営業利益】 ✓ 国内事業は、価格改定及び生産効率化等による増益を見込む。 ✓ 海外事業は、売上の回復による増益を見込む
経常利益	958	3.3%	748	2.5%	78.0%	
当期純利益	405	1.4%	374	1.2%	92.4%	
EBITDA	1,577	5.4%	1,660	5.4%	105.3%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却費、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

(訂正後)

## 2023年2月期 業績計画

国内事業、海外事業共に増収増益を見込む。国内事業、海外事業共に新型コロナウイルスの影響が継続することを前提とし、緩やかな回復を見込んでいる。なお、**新たなM&Aによる成長は含めていない**。

	2022年2月期		2023年2月期 (業績予想)		前年比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,283	100.0%	30,526	100.0%	104.2%	【売上高】 ✓ 国内事業は、現状維持を前提とし、十二堂が新たに加わることで増収 ✓ 海外事業は、緩やかな回復を見込む
営業利益	655	2.2%	835	2.7%	127.5%	【営業利益】 ✓ 国内事業は、価格改定及び生産効率化等による増益を見込む。 ✓ 海外事業は、売上の回復による増益を見込む
経常利益	993	3.4%	783	2.6%	78.8%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	500	1.7%	468	1.5%	93.8%	
EBITDA	1,577	5.4%	1,660	5.4%	105.3%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却費、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

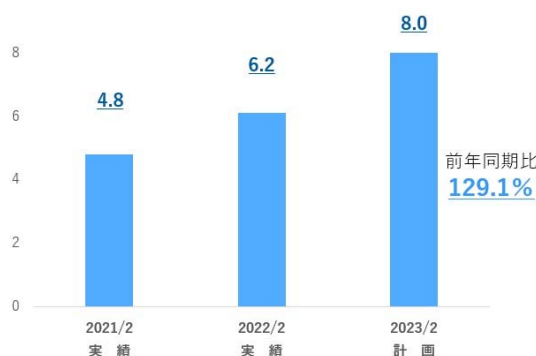


(訂正前)

## 2023年2月期 業績計画 - 営業利益

海外事業は、売上が徐々に回復することで、営業利益も回復することを想定し、前期比**129.1%**の計画

営業利益推移 (単位: 億円)



### 概要

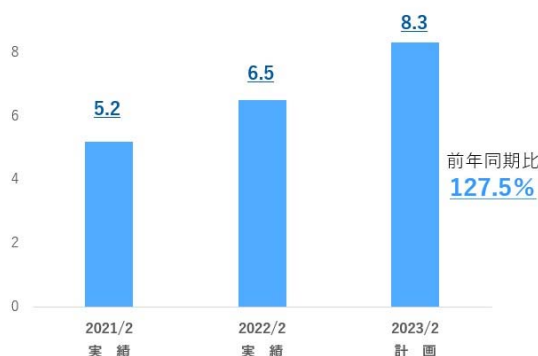
- 前年同期比**129%**を見込む
- 国内事業は、前期に新たにグループ化した十二堂が寄与、原材料高騰に対しては価格改定により対応し、利益水準を維持することで全体では増益を見込む
- 海外事業は、売上の回復により増益を見込む

(訂正後)

## 2023年2月期 業績計画 - 営業利益

海外事業は、売上が徐々に回復することで、営業利益も回復することを想定し、前期比**127.5%**の計画

営業利益推移 (単位: 億円)



### 概要

- 前年同期比**128%**を見込む
- 国内事業は、前期に新たにグループ化した十二堂が寄与、原材料高騰に対しては価格改定により対応し、利益水準を維持することで全体では増益を見込む
- 海外事業は、売上の回復により増益を見込む

以 上